

379名 一人一人が、生きる ことについて 考えました

2月2日 2年生が、保護者や学区の皆様を迎えて、立志の会、記念講演会を行いました。



「名づけられた葉」に思いを託して

わたしは10歳の時、小学校で「2分の1成人式」という会をしました。しかし、立志の会はそれとは全く違いました。

「決意」がわたしにとって印象的でした。パン屋さん、保育士など職業を言う子と、「人のために何かをしたい」という子、自分の特技を伸ばしていきたいと言った子がいてびっくりしました。職業だけが将来の夢じゃないし、将来の夢だって十人十色です。講演会で杉浦さんが「どんな職業でも人のため、自分のためになることができる」と言っていたので、



文字職人 杉浦誠司さんから贈られた「志」

理由がしっかりしていればいいのだと思いました。わたしの将来の夢は小説家です。読書が好きなので、面白い話を書ける小説家をすごいと思っていました。そして「こんなことができたらな」と、もしもの世界を考えるのが好きだったので、小説家になりたいと思うようになりました。これからは、杉浦さんが言っていたように「わたしは、こんな理由で小説家になりたいです。」と自信をもって言える人になりたいです。(美歌さん)

2月3日 1年生が、総合的な学習「安城ゆかりのひと 南吉」の発信を行いました。

私は、自分たちが分かったこと、調べたことを少しでも楽しく知ってもらえたら、南吉を身近に感じてくれると思ったので、クイズを作りました。本番では、練習よりもしっかりしゃべれていたし、声も大きく出たので良かったです。小学生も楽しんでくれたのでとても嬉しかったです。しかし、クイズの問題が簡単すぎて最後まで勝ち残ってしまう人が多かったので、クイズの内容をもっと工夫しないといけないと思いました。クイズが終わった後、小宮路教頭先生が「正解の後に説明を入れるといい。」とアドバイスしてくれたので、またの機会に頑張りたいと思いました。



文山小の6年生にクイズ発信

私は、このことを通して、自分が知ってもらいたいと強く思えば、相手にちゃんと伝わるということを学びました。この学んだことをいかして、どんなことにも一生懸命、必死に頑張っていきたいと思いました。(萌絵さん)



発信活動後の校内発表会

2月6日 3年生が、安城防災ネットの方の防災講話を聞きました。



あいさつで近所の人との心の結びつきを

ンが必要だということがわかりました。また、絶対に生き抜くという意思が必要だということもわかりました。

ゴミ袋で雨ガッパや防寒用のフードを作る体験をして、身近な物が役に立つことを学びました。また、段ボールとゴミ袋でバケツになるなどの知識を得ることもできました。もし地震が起きたら、中学生がボランティアとして働くことが必要なので、この会で学んだことを活かして私自身ができることをしたいです。(乃依さん)



ゴミ袋で防寒用フードづくり

